

この取扱説明書は特注仕様による内容を除いて、特注品にも共用します。レール施工では【レール施工取扱説明書】を併読願います。

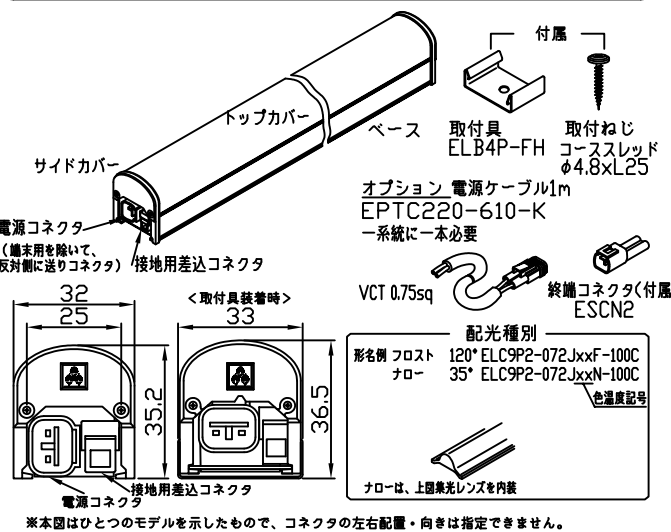
◆仕様

※100V 屋内/屋外の防水仕様(保護等級 IP65。浸漬・水中不可)。
※接続にはオプション電源ケーブル(1系統に1本)が必要。
※最大連結長は20m。

■本体			
形名 標準用: xxExxx	ELC9P2-026Jxxx-100C	ELC9P2-048Jxxx-100C	ELC9P2-072Jxxx-100C
定格	100V 7.6W	100V14W	100V21W
全長(mm)	354	582	870
質量(g)	260(レンズ非内蔵) 285(レンズ内蔵)	385(レンズ非内蔵) 435(レンズ内蔵)	515(レンズ非内蔵) 590(レンズ内蔵)
送りの有無	コネクタあり		
電流制御装置	電源内蔵/定電流制御(光出力欠落なし/調光)		
■付属品			
取付具	2		
取付ねじ	1(取付具1個につき)		

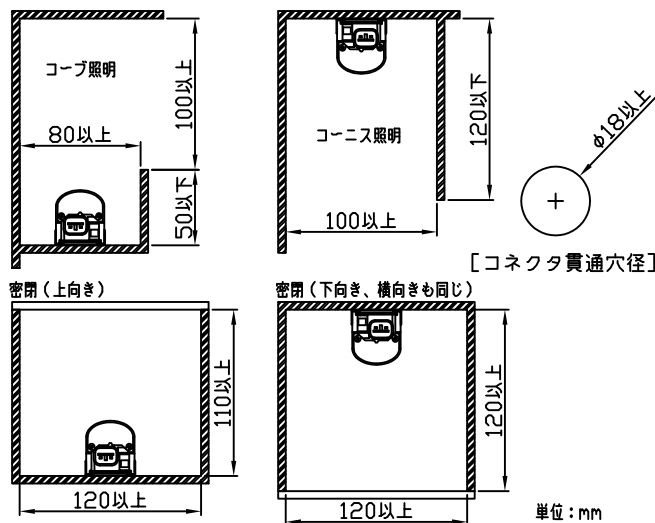
※形名xxx 1と2文字目は色温度の上2桁、3文字目はカバー/配光(F:フロスト、N:ナローレンズ)
※ELC9P2-***Exxx-は端仕様(送りコネクタなし)

◆各部の名称



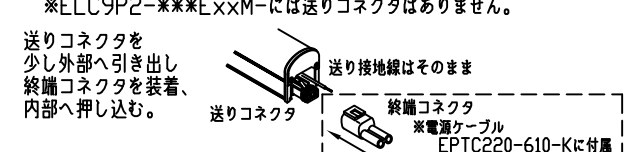
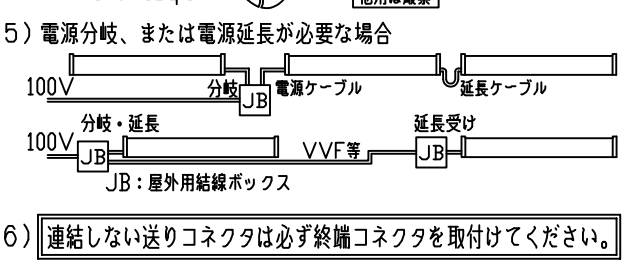
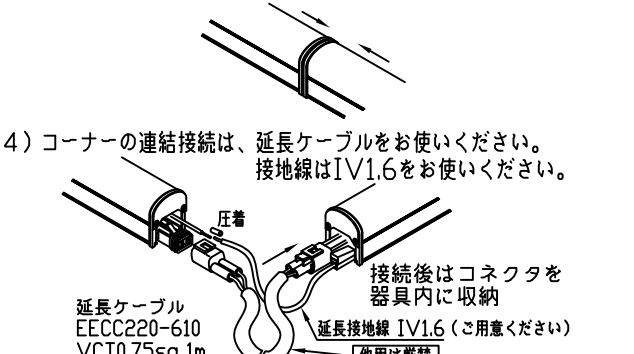
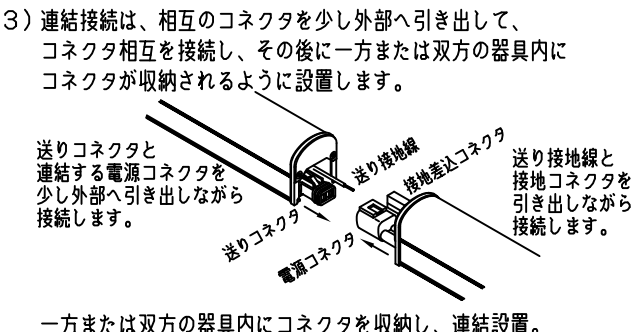
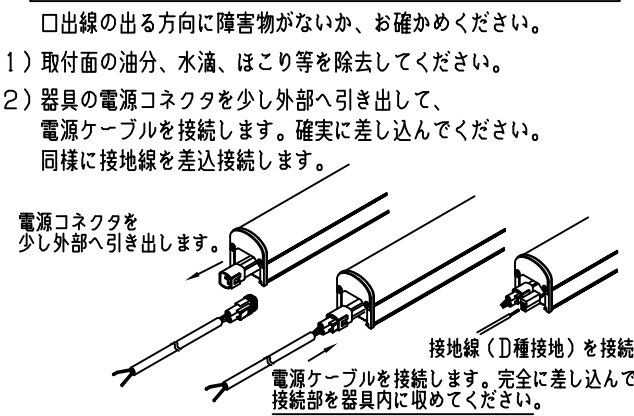
◆最小施工寸法

●器具の温度上昇を避けるため、下記寸法をお守りください。
下記寸法以下の場合、器具寿命短縮のおそれがあります。



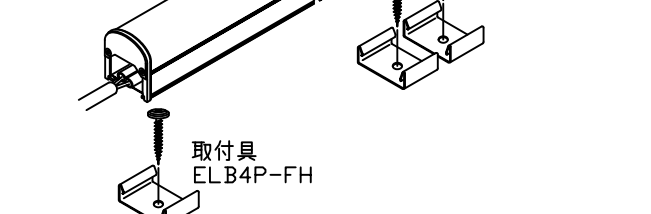
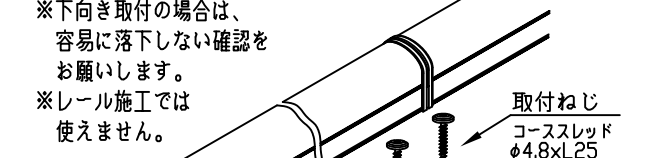
◆取付及び接続方法

⚠電気設備の技術基準に従って施工してください。
接続等の施工は、法規に従って有資格者が行ってください。
レール施工では【レール施工取扱説明書】を併読願います。

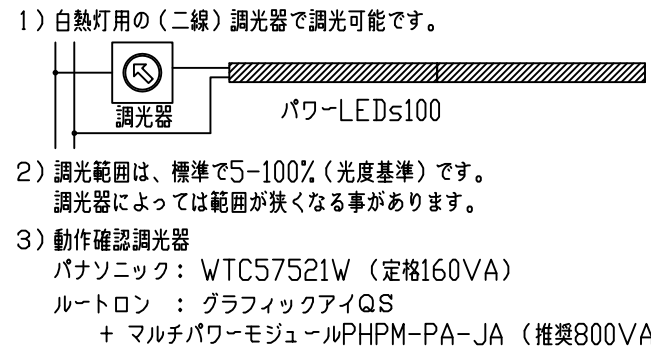


⚠本製品以外を送りコネクタに接続しないこと。
⚠コネクタは確実に挿入接続のこと。不完全接続は、発熱・発煙・発火、水の侵入による漏電、感電の原因となります。

7) 付属取付具で取り付ける場合



◆調光接続



※電源ノイズの影響や調光器との組合せ次第では、調光設定中に僅かなちらつきを生じることがありますが、故障ではありません。少しずらした位置でお使い戴くようお願いいたします。
※電源オンで一瞬点灯した後に調光点灯に移ることがありますが、故障ではありません。
※長さや違う製品を連結した場合、調光時に多少明るさが揃わない場合がありますが、故障ではありません。
※複数の調光器を使用した場合、相互影響により僅かなちらつきが生じることがありますが、その場合は、調光設定を少しずらした位置でお使い下さい。
※負荷容量などは、ご使用になる調光器の説明書に従ってください。
※本製品のLED電流は連続しており、光出力欠落はありません。従いまして、フリッカ現象(ストロボ効果)は生じません。

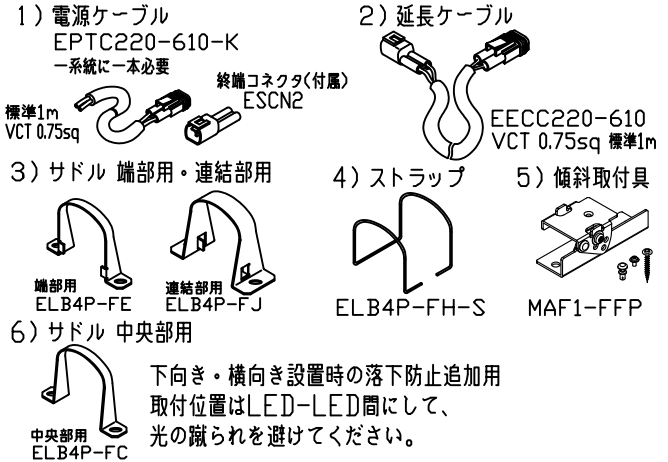
◆連結設置

1) この器具は最大下記の長さまで連結することができます。

形名	ELC9P2-xxxJxxx-100C
最大連結長	20m(電源・延長ケーブル含む)

⚠最大連結長を越えないようにご注意ください。最大連結長を越え、短絡等異常時の回路遮断遅延を招き、発煙・発火に至る場合があります。本LEDは定電流駆動ですから、末端器具光度低下はありません。

◆オプション



◆取り扱い上の注意事項

- 1) 入力・送りの各コネクタを強く引っ張らないでください。
- 2) サイドカバー止めねじを外すなど、分解をしないでください。
- 3) トップカバーを強く押すなど変形させると、元へ戻らなくなります。無用な力を加えないようにしてください。
- 4) 内蔵されているLED素子及び基板の交換はできません。
- 5) 器具の近くにあるラジオ・テレビ等に雑音が入る場合があります。ラジオ・テレビ等を離すか、雑音防止フィルタを入れてください。
- 6) LED寿命は明るさが70%になる設計寿命で、保証寿命ではありません。また、LED寿命は発光時間で規定しますが、器具寿命は設置経年で規定しますので、LED寿命に一致するとは限りません。設置経年寿命は、日本照明工業会の目安で8-10年です。

◆設置上の注意事項

- 1) 下のようなコネクタ露出は、安全上できません。
コネクタを器具内に入れてください。
- 2) 下のような器具同士を離れた設置は、安全上できません。
器具が離れているので、密接してください。
- 3) 送り側の分岐配線はできません。
送り側の分岐配線はできません。
- 4) 送りコネクタに、当社指定外の製品接続はできません。
- 5) 屋側設置の場合は、豪雨時に上層階等からの雨水流れ込みによる浸漬懸念がありますので、底や設置面から浮かすなどの対策を願います。
- 6) 軒下などに下向き設置の場合、取付面から雨水が入り込む環境では防水性が落ちます。雨水などが伝わらない方を講じてください。
雨水が伝わらないような方策
頭上設置の安全確認
- 7) 通路上部や高所等、落下被害が想定される所に設置される場合は、特に造営材強度に配慮する等、安全確認を十分行ってください。
- 8) 壁面に直近で設置する場合は、器具に近い壁面に、明るさむらを生じていないか、離隔・間隔の事前確認をお奨めします。